

サードネットワークスが日本オンラインゲーム協会に

なりすまし犯罪防止のためにセキュリティ共通基盤システムを提供

サードネットワークスは日本オンラインゲーム協会（略称；JOGA）と業務提携を締結、ハッキング行為によるユーザーアカウントの不正取得、そこから生じる犯罪行為およびハッキングトラブル時の適切なユーザー対応を行うため、約5,000万ユーザーアカウントを保持するJOGA会員企業の共通基盤として携帯電話を利用した独自の本人確認システムを提供いたします。これにより本人確認ができないために生じる様々なトラブルを解決し、より安全なサービスの提供を実現。サードネットワークスはJOGAおよびJOGA会員企業と連携し、ネットワークコンテンツビジネスの先駆者として高レベルの安全なインターネットサービス環境づくりをめざします。

「セキュリティ共通基盤システム」に関する
(社)日本オンラインゲーム協会との業務提携に就いて

サードネットワークス株式会社

サードネットワークス株式会社(東京港区、社長雨宮正明)は一般社団法人日本オンラインゲーム協会(東京渋谷区 理事長植田修平 以下「JOGA」と呼ぶ)と「セキュリティ共通基盤システム」の構築運営に就いて業務提携を締結しました。サードネットワークスは「セキュリティ共通基盤システム」におけるゲーム利用者の本人認証のコア技術である携帯電話などを使ったワンタイムパスワード認証ソリューションを提供し、且つ認証サーバーの運営管理を行います。

「セキュリティ共通基盤システム」はオンラインゲーム会社が共有して使える認証インフラとして提供されます。その効果としては、オンラインゲーム会社1社当たりのシステム投資コストが大幅に軽減できること、ゲーム利用者がオンラインゲーム会社各社のゲームでワンタイムパスワードを共通して使うことができることなどがあります。

またサードネットワークスは本人認証技術だけでなく、本人認証に連携した補償サービスを「セキュリティ共通基盤システム」の機能として提供します。この補償サービスは「セキュリティ共通基盤システム」に加入していたにも関わらず、アカウントハッキングやクレジットカードホルダーなりすましによる不正決済など「なりすまし」による事故が発生



し、オンラインゲーム会社が経済的損失を被った時、その損害を補償するものです。したがってオンラインゲーム会社はセキュリティ技術に依り本人認証を確立できるだけでなく、万一の事故における経済的リスクをも軽減することができます。

サードネットワークスは今後も JOGA との連携を強め、「セキュリティ共通基盤システム」の機能充実に努めると共に、これらサービスをオンラインゲーム周辺の業界に対しても展開する計画を持っています。

○サードネットワークスについて

2002年3月設立。本社；東京都港区。代表者；雨宮正明。資本金；2億1,550万円。本人認証セキュリティをASPで創業以来提供しています。過去無事故無停止の安定稼働を誇っています。今回は過去の安定稼働の実績、共通基盤とすることで本人認証ソリューションをオンラインゲーム業界で横断的に使えること、決済と補償をリンクさせたサービスを提供できることなどが評価されて今回の業務提携に至りました。

○問合せ先

本件に関するお問い合わせは「サードネットワークス株式会社 広報担当」宛お願い致します。

電話：03-3500-3030